

手術を受けられる方へ



このパンフレットは、入院から退院まで使用します。
入院時は、忘れずご持参下さい。

医療法人 溪仁会
iK 手稻溪仁会病院

〒006-8555 札幌市手稲区前田 1 条 12 丁目 1-40

電話：011-681-8111（代表）

◇◇◇ 目 次 ◇◇◇

■ はじめに	P1
■ 手術が決定してから退院までの流れ	P2
■ 手術が決定してから入院まで		
1. 安全に手術を受けるために	P3
2. お薬について	P4
3. 手術前にはずしていただく物	P5
4. 手術の合併症を予防するために	P6
1) 口腔内の清潔について	P6
2) 禁煙について	P7
3) 深呼吸の練習について	P7
4) 手術後のリハビリについて	P7
■ 入院から手術まで		
1. 入院病棟について	P8
2. 入院から手術前日まで	P9
1) 手術に関する説明について	P9
2) 麻酔科受診について	P10
3) 手術室看護師の訪問について	P10
4) 手術室に入ってから病室に帰るまでの流れ	P11-12
3. 手術当日について	P13
■ 手術が終了してから退院まで		
1. 手術後の経過について	P14
2. 術後の痛みについて	P15
3. 退院に向けての準備について	P16
4. 退院当日について	P16
5. 入院費用と証明書の発行について	P17

患者さんの

お名前

様

■ はじめに

当院では、職員が一つのチームとなって患者さんとご家族を支援します。
患者サポートセンターでは、入院前の患者さんに手術前後のご説明や心配な点のご相談について、それぞれの専門職種が対応致します。また、直接手術に関係のない、医療・福祉・介護等に関する様々なご相談にも応じますので、是非ご活用下さい。



手術が決定してから退院までの流れ

■手術が決定してから
入院まで

外 来

診察の結果、手術を受けることが決定しましたら、
まずは医師から手術に関する説明があります。
その後、患者サポートセンターにご案内します。

患者サポートセンター

手術や入院に必要な、様々な確認や説明を行います。

■入院から手術まで

入 院

どのような手術を行う予定かについてご説明
します。

麻酔科受診

麻酔に関する説明があります。
手術準備、術後の経過についての説明があります。

手 術

どのような手術を行ったか、および手術中の状況に
ついて説明があります。

■手術が終了してから
退院まで

退院に向けた準備

リハビリなど早期退院、早期社会復帰に向けた
準備をします。
退院後に関する説明があります。

退 院

※診療科や疾患によって順番が前後する場合があります。

■ 手術が決定してから入院まで

1. 安全に手術を受けるために

手術を万全に迎えるために、アレルギー・手術歴・手術間近の体調についてお伺いします。大変重要ですので、何度も確認させていただきますが、ご協力をお願い致します。

病歴、体調についての質問	
①アレルギーについて	<ul style="list-style-type: none"> ➤ アレルギー体質（食べ物や薬で蕁麻疹や湿疹、吐き気などが出たことがある）と言われたことがありますか？ *大豆、牛乳、卵、果物、薬、ゴム製品、アルコール綿、テープ負け等
②手術歴について	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 全身麻酔を受けた事がありますか？ ➤ 血縁の方で、麻酔を受けて何か問題のあった人はいますか？ ➤ 輸血を受けたことはありますか？
③体調について	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 咳が出る、鼻水が出る、のどが痛い、おなかが痛い、下痢をしている、吐き気がする、関節が痛い等の症状はありましたか？ ➤ 日常生活で、息切れや動悸、呼吸困難はありましたか？ ➤ 最近1ヶ月以内に、予防接種は受けましたか？ ➤ 身体にむくみや腫れはありましたか？ ➤ 腰痛や首を前後に曲げると手足がしびれたり痛くなりますか？ ➤ 喫煙はしていますか？ ➤ 口を大きく開けることはできますか？

※ペースメーカー手帳やICD手帳などをお持ちの方は、入院時にご持参下さい。

説明日： 月 日 担当者： _____

2. お薬について

手術前に、現在使用しているお薬を確認させていただきます。
 現在お持ちのお薬手帳やお薬カードなどがありましたら、提出をお願い致します。
 お薬の種類（血液をサラサラにする薬など）によっては、お薬の内服をいったん中止する必要があるります。

入院の際には、必ずお薬手帳やお薬カードなどと、入院までに使用していたお薬やインスリンをご持参下さい。

入院後は、担当の薬剤師が再度、お薬の確認を行います。

中止する薬剤	
	月 日より中止
	月 日より中止
	月 日より中止
	月 日より中止
	月 日より中止
	月 日より中止
	月 日より中止

説明日： 月 日 担当者： _____

3. 手術前にはずしていただく物

手術時に貴金属類を身につけていると、やけどをすることがあります。
安全に手術を行うために、以下の物をはずしていただきます。

- 特に指輪は、手術当日はずれない方が多くいらっしゃいますので、必ず入院前にはずれるかどうか確認して下さい。どうしてもはずれない場合は、事前にご連絡下さい。
- 手術中は目を保護するテープを貼る場合がありますので、付けまつ毛やまつ毛のエクステーションをつけたまま手術を受けることはできません。
- 爪は呼吸状態などを知る大切な観察部位です。また、指先に医療機器（モニター類）をはめることがあり、正確な値を測定できるよう、マニキュアやジェルネイル付け爪は除去するようお願いいたします。



入れ歯



コンタクトレンズ・磁気製品



かつら・ウィッグ



お化粧品・つけまつ毛・エクステーション



マニキュア・ジェルネイル



腕時計



イヤリング・ピアス・ネックレス・指輪・ヘアピン

説明日： 月 日 担当者： _____

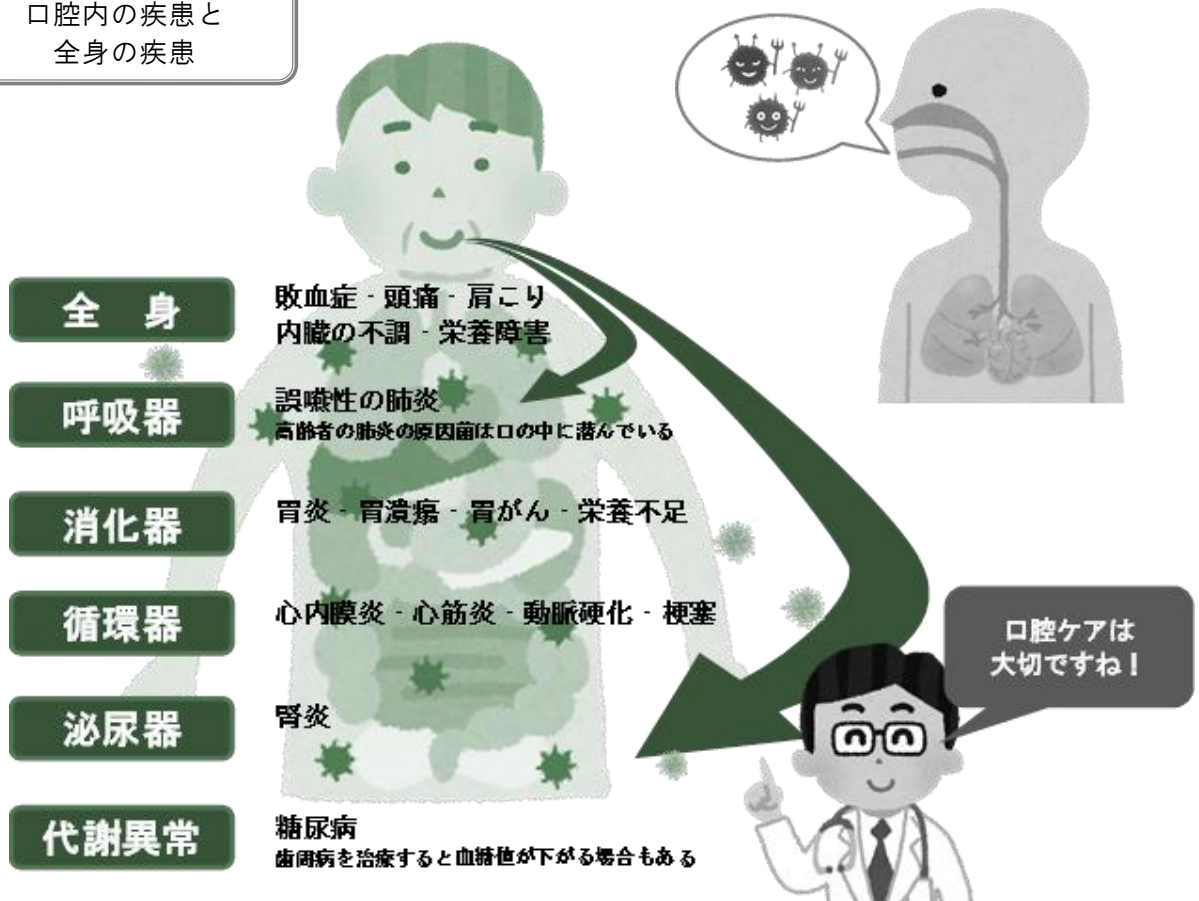
4. 手術の合併症を予防するために
1) 口腔内の清潔について

手術前は、食事や飲水が制限されるため、口の中の細菌が増える場合があります。口の中が不衛生ですと、下記のことが起こる可能性があります。

- 全身麻酔時に、口から気管の中に挿入するチューブに細菌が付着し、肺炎などを起こすことがあります。
- 歯周病によりグラグラしている歯があったり、歯並びが悪い時は、全身麻酔時に歯が欠けたり、抜け落ちて喉にひっかかるなど、重大な合併症を引き起こすことがあります。

*弱い歯やグラグラしている歯がある時は、手術前にあらかじめお知らせ下さい。

口腔内の疾患と
全身の疾患



歯や歯ぐきに不安がある方は、お近くの歯科を受診し、チェックしてもらいましょう。

説明日： 月 日 担当者： _____

2) 禁煙について

喫煙を早めにやめることで、手術の合併症（肺炎など）を減らすことができます。

禁煙にチャレンジ
します。

手術が決定したら、すぐに禁煙しましょう。



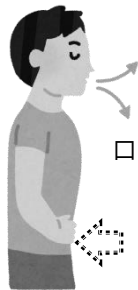
説明日： 月 日 担当者： _____

3) 深呼吸の練習について

手術後は、全身麻酔の影響や傷の痛みなどで、呼吸が浅くなり、喀痰を出しにくくなる為肺炎を起こしやすくなります。そのため深呼吸をして、肺を十分に働かせる必要があります。



鼻から吸って



口から吐く

説明日： 月 日 担当者： _____

4) 手術後のリハビリについて

手術後、ベッドで寝ている期間が長いと、血液の循環が悪くなったり、肺炎を起こしたり、腸の動きが低下したり、筋力が低下するといった合併症が起きやすくなります。そのため、手術後は積極的に痛み止めを使用し、早い時期から歩いたり、リハビリを行ったりします。



説明日： 月 日 担当者： _____

■ 入院から手術まで

1. 入院病棟について

入院当日は、
入院受付 7番（A棟1階）にお越し下さい。
入院病棟をご案内致します。

土日祝祭日に入院される場合は、直接ナースステーションにお越し下さい。
入院病棟が事前に決まっていない患者さんには、病院から電話でご連絡致します。

入院前または入院当日の体調によっては、手術や入院を延期する場合があります。
手術までの期間、患者さんご本人または同居のご家族に、下記の症状がある場合は、
ご連絡下さい。

目のかゆみ、発熱、咳、のどの痛み、おなかの痛み、吐き気、下痢、関節痛など

ご不明なことがありましたら、お電話の上「患者サポートセンター」へ
お電話をつなぐようお申し出下さい。

手稲溪仁会病院 代表：011-681-8111

説明日： 月 日 担当者： _____

2. 入院から手術前日まで

- 手術に必要な検査を行う場合があります。
- 手術までに医師、看護師より説明があります。
- 今まで内服していたお薬は、薬剤師が一度確認いたします。
- 感染予防のため、手術部位を除毛します。また、事前にひげそり、シャワー浴をお済ませ下さい。
- 緊張して眠れない場合は睡眠剤を準備していますので、看護師に声をかけて下さい。
- 手術前の食事や水分の摂取は制限があります。別紙でご説明致します。
- 手術室や集中治療室（ICU）が、どのような場所なのかイメージしにくい方は、見学することができます。ご希望の方は、手術前日までに病棟看護師にお申し出下さい。

1) 手術に関する説明について

ご家族の方が必ず同席して下さい。どなたも同席できない場合は、お申し出下さい。外来ですでに済んでいる方には、説明はありません。わからない事や、もう少し詳しく説明を聞きたいことなどがありましたら、遠慮なくお申し出下さい。

月 日 (:) 頃行います。

説明日： 月 日 担当者： _____

2) 麻酔科受診について

麻酔科医師が術前診察を行い、麻酔方法の説明を致します。
 病棟職員が麻酔科外来までご案内します。
 麻酔について不安がある方や、病気や目が悪い等でサインができない方には、ご家族の方の同席が必要ですので、病棟内で待機をお願い致します。
 なお、お待ちいただく場合がありますので、ご家族がお急ぎの際は、看護師に声をかけて下さい。

月 日 (:) 頃行います。

説明日： 月 日 担当者： _____

3) 手術室看護師の訪問について




手術室の看護師が病室を訪問し、手術中の流れなどを説明いたします。
 心配なこと、不安なことをご相談下さい。

現在補聴器や眼鏡を使用されている方で、会話や歩行に不自由がある場合はつけたまま手術室に入ることもできますので、ご希望される方は看護師にお伝え下さい。

説明日： 月 日 担当者： _____



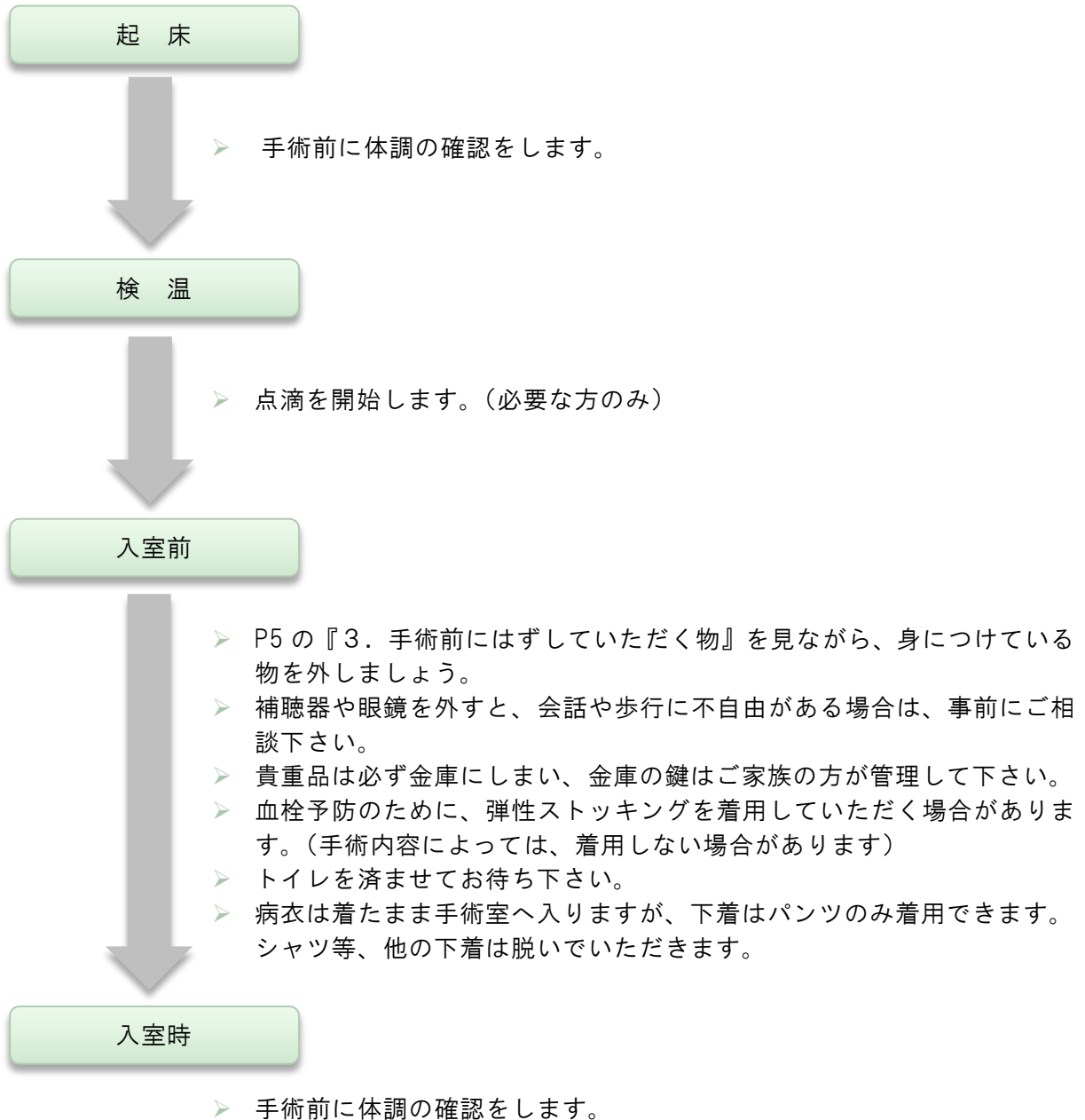
4) 手術室に入ってから病室に戻るまでの流れ

入室前	手術室入室時	手術する部屋に入る
<p>①時間になりましたら、手術室から病棟へ連絡いたします。それまで病室でお待ち下さい。</p> <p>②病棟の看護師が手術室まで同行しますのでご安心下さい。</p> <p>③他の患者さんの手術進行の状況によっては、予定どおりの時間に開始できない場合がありますのでご了承下さい。</p>	<p>①手術室看護師が、お名前、手術部位（左右）などを確認させていただきます。</p> <p>②リストバンドでご本人確認をいたします。</p> <p>③帽子をかぶります。</p> <p>④手術室看護師が手術するお部屋へご案内致します。</p> 	<p>①手術台にあがり、真上を向いて寝ていただきます。 *移動できない患者さんは、ストレッチャーのまま麻酔を行う場合があります。</p>  <p>②術中、手術部位によっては病衣を脱いでいただく場合があります。</p> <p>③心電図、血圧計、呼吸状態を計るクリップを着けます（自動血圧計なのできつめに締まります）。</p>  <p>④点滴を行います。</p>

麻酔についての説明		手術中～退室
脊椎麻酔・硬膜外麻酔のながれ	全身麻酔 神経ブロックのながれ	
<p><脊椎麻酔></p> <p>①脊椎麻酔は下半身麻酔とも言われています。痛みや冷たさはなくなりますが、触れられている感じは残ります。</p> <p>②麻酔を行う際には、横向きになります。できるだけ両足をおなかの方に曲げて、頭はおへそをのぞき込むようにして体を丸くします。</p> <p>* 痛みのある場合は、無理のない姿勢でかまいません。</p> <div data-bbox="215 817 686 1075" data-label="Image"> </div> <p>③腰の消毒のあと、麻酔の注射をします。看護師がお体を支えていますのでご安心下さい。</p> <p>④麻酔中もお話はできます。</p> <p>⑤神経の近くに針が入ります。動かないようお声かけしますので、ご協力下さい。痛みなどがありましたら、声で教えて下さい。</p> <p>⑥注射が終わったら、絆創膏をはり、上を向きます。</p> <p>⑦血圧を約1分ごとに測ります。</p> <p>⑧麻酔の効き具合を何度か確認します。少しでも気分が悪ければ教えて下さい。</p> <p><硬膜外麻酔> 脊椎麻酔と同じように行います。</p>	<p><全身麻酔></p> <p>①口の上にマスクをあて、酸素を呼吸しはじめます。</p> <p>②点滴から眠くなるお薬を入れますので、次第に眠くなります。完全に眠ってから、口から気管まで細い管を入れます。この管を使って人工呼吸を行います。</p> <div data-bbox="734 772 1085 1086" data-label="Image"> </div> <p><神経ブロック> 神経ブロックは手術部位の神経周囲に一時的な麻酔をかけたり、麻痺させることにより、手術中と術後の痛みを軽減させる治療法です。</p> <p>全身麻酔と神経ブロックを併用する場合があります。</p> <p>基本的には、全身麻酔を開始する前に行います。</p>	<p>①手術中は麻酔科医師、担当看護師がそばにいますのでご安心下さい。</p> <p>②手術終了後、レントゲンを撮影することもあります。</p> <p>血圧などの問題がなければ、ストレッチャーに移動して病棟へ帰ります。</p> <div data-bbox="1141 862 1396 1209" data-label="Image"> </div>

説明日： 月 日 担当者： _____

3. 手術当日について



ご家族の方へ

事前にお伺いした連絡先の電話は、必ずつながるように待機して下さい。
手術後、医師から説明があります。
多少お待たせすることがありますので、ご了承下さい。

説明日： 月 日 担当者： _____

■ 手術が終了してから退院まで

1. 手術後の経過について

病室へ帰ったら

- 手術のあとは、ストレッチャーで病棟へ移動します。麻酔の影響で、ぼーっとする場合や足の感覚がはっきりしない場合がありますが、時間とともに良くなっていきますので、ご安心下さい。
- 手術の種類によって管が入ったり、酸素マスク、点滴などを行う場合があります。

体調確認

- 体調確認をします。
- 手術によっては胸に心電図モニターをつけます。
- 血圧・体温測定、採血などの後、ご家族と面会できます。

ベッド上で安静が必要な時期

- 手術後から麻酔が覚めるまでは、ベッドの上で安静にします。(長期の安静により床ずれや腰痛を起こしやすくなります。予防のため、体の向きを変える必要がありますので、看護師がお手伝いします)
- 食事や水分摂取に制限がある場合は点滴を行います。
- 血栓予防の為に、弾性ストッキングを着用していただく場合があります。

●こんな時は、看護師を呼んで下さい●

トイレに行きたい、傷が痛い のどが痛い
息が苦しい、声が出にくい・・・など

動けるようになったら

- 手術後初めて歩行するときには、必ず看護師をお呼び下さい。
- 医師が回診のときに、創部の処置や術後の状態を観察します。

医師・看護師が「もう歩いていいですよ」とお伝えしたあとは、退院に向けてどんどん歩いてリハビリしましょう。

説明日： 月 日 担当者： _____

2. 術後の痛みについて

痛みのない状態は、回復を早めます。

手術後は痛み止めのお薬を用意していますので、我慢せず遠慮なく主治医や看護師にお申し出下さい。

痛みの強さに応じて患者さん自身で調整できる鎮痛法があり、ご使用いただく場合があります。



痛み止めの追加をご自身で行うことができます

PCAポンプ

(Patient controlled analgesia: 患者自己調節鎮痛法)



楽々フューザー

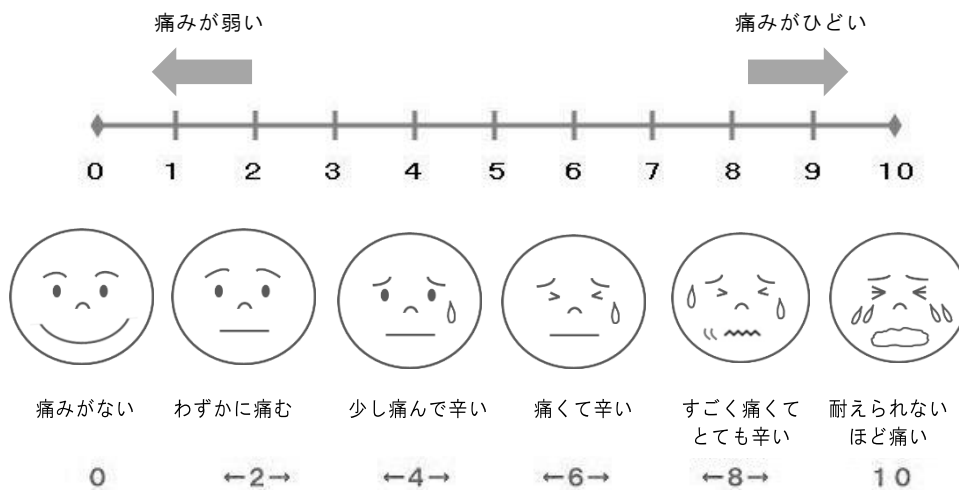
(硬膜外麻酔)

痛みの強さはどのくらいですか？

痛みを我慢せずに過ごせるよう、痛みの度合いに応じた痛み止めのお薬を使用します。

10を最大の痛みとした場合、今の痛みはどの辺りなのかをお教え下さい。

痛みの度合い(Face Scale)

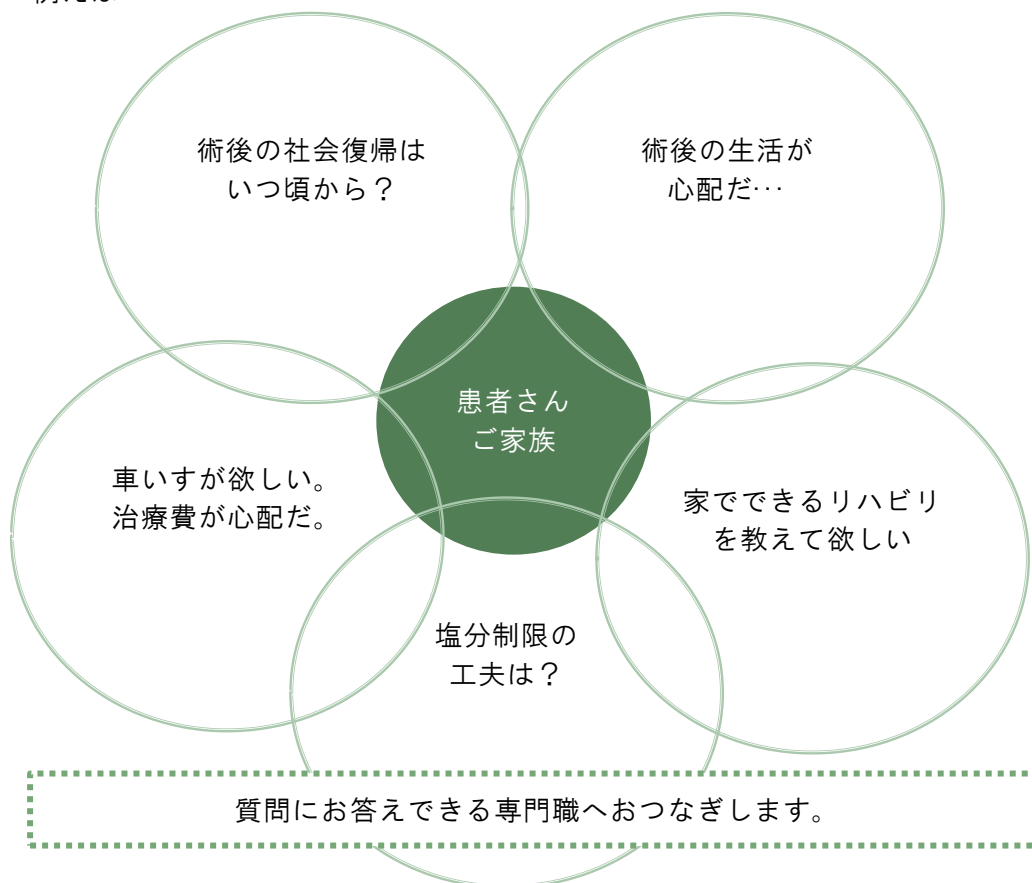


説明日： 月 日 担当者： _____

3. 退院に向けての準備について

患者さんとご家族に安心して退院していただくために、相談体制を整えています。相談をご希望される方は、病棟看護師にお申し出下さい。手稲溪仁会病院は、患者さんの力を活かして生活できるように支援させていただきます。

例えば・・・



4. 退院当日について

- 退院後の外来受診や検査についてご説明いたします。別紙を参照して下さい。
- 薬（処方がある場合）や診察カードをお渡しします。
- 体温計は返却して下さい。
- 退院前にベッドや床頭台など忘れ物の無いよう確認をお願いします。

説明日： 月 日 担当者： _____

5. 入院費用と証明書の発行について

証明書類の発行について（有料）

診断書や入院証明書などが必要な方は、

入院中は・・・ナースステーションの事務員（病棟クラーク）へ
退院後は・・・各科外来受付へ

お問い合わせ下さい。

* 所定の様式がある場合は、お取り寄せ下さい。

* 診断書の発行には、時間がかかりますのでご了承下さい。

説明日： 月 日 担当者： _____

